

修士論文（要旨）  
2025年1月

翻訳における遺失物をもとめて  
—村上春樹作品とその翻訳を比較する—

指導 青山 文啓教授

国際学術研究科  
国際学術専攻  
グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム  
223J1008  
福岡 大季

Master's Thesis (Abstract)  
January 2025

Lost & Found in Translation :  
A Comparison of Murakami's Original Writings to Their Translations

Daiki Fukuoka  
223J1008  
Master of Arts Program in Global Communication  
Master's Program in International Studies  
International Graduate School of Advanced Studies  
J. F. Oberlin University  
Thesis Supervisor: Fumihiro Aoyama

## 目次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 第1章 はじめに .....                      | 1  |
| 1.1 翻訳者と反逆者 .....                   | 1  |
| 1.2 <翻訳>と<通訳>の違い .....              | 1  |
| 1.3 村上春樹と翻訳家との関係 .....              | 2  |
| 1.4 データの処理方法 .....                  | 4  |
| 第2章 先行研究 .....                      | 5  |
| 2.1 ヤーコブソンの研究 .....                 | 5  |
| 2.2 ヴィネイとダルベルネの翻訳ストラテジー .....       | 5  |
| 2.2.1 借用“loan” .....                | 6  |
| 2.2.2 語義借用“calque” .....            | 7  |
| 2.2.3 直訳“literal translation” ..... | 8  |
| 2.2.4 転移“transposition” .....       | 8  |
| 2.2.5 調整“modulation” .....          | 9  |
| 2.2.6 対応“correspondence” .....      | 9  |
| 2.2.7 適合“adaptation” .....          | 9  |
| 2.2.8 削除“omission” .....            | 11 |
| 2.2.9 明示化“explicitaion” .....       | 11 |
| 2.3 国内における村上春樹の翻訳研究 .....           | 13 |
| 2.4 まとめ .....                       | 13 |
| 第3章 普通名詞（料理にまつわる名詞） .....           | 15 |
| 3.1 本章で取り上げる料理にまつわる名詞 .....         | 15 |
| 3.2 和食はいかに翻訳するのか .....              | 15 |
| 3.2 名詞を解説する翻訳 .....                 | 16 |
| 3.3 名詞が持つ特殊性 .....                  | 18 |
| 3.4 音声上の合流と翻訳例 .....                | 19 |
| 3.5 まとめ .....                       | 20 |
| 第4章 固有名詞 .....                      | 21 |
| 4.1 村上作品の固有名詞 .....                 | 21 |
| 4.2 店名を表す固有名詞 .....                 | 21 |
| 4.3 人物名の翻訳例 .....                   | 24 |

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 4.4 消えた固有名詞、消えつつある固有名詞 ..... | 24 |
| 4.5 まとめ .....                | 26 |
| 第5章 登場人物が使う外国語の表現 .....      | 27 |
| 5.1 登場人物が使う外国語の表現について .....  | 27 |
| 5.2 フランス語の場合 .....           | 28 |
| 5.3 英語母語話者の発音の再現性 .....      | 30 |
| 5.3 日本語と外来語の衝突 .....         | 32 |
| 5.4 どの言語か不明な場合 .....         | 33 |
| 5.5 スペイン語の場合 .....           | 34 |
| 5.6 まとめ .....                | 35 |
| 第6章 人称詞 .....                | 35 |
| 6.1 人称詞と翻訳 .....             | 35 |
| 6.2 同じ人称詞が同時に使われた場合 .....    | 35 |
| 6.3 人を指示詞で呼ぶ場合 .....         | 36 |
| 6.4 空間を表す語で人を指す場合 .....      | 38 |
| 6.5 <私たち>は聞き手を含むのか .....     | 38 |
| 6.6 まとめ .....                | 39 |
| 第7章 逆輸入表現 .....              | 39 |
| 7.1 逆輸入表現とは .....            | 39 |
| 7.2 歴史的名言・書物からの逆輸入表現 .....   | 41 |
| 7.3 ポップカルチャーからの逆輸入表現 .....   | 43 |
| 7.4 慣用句からの逆輸入表現 .....        | 44 |
| 7.5 まとめ .....                | 46 |
| 第8章 おわりに .....               | 47 |
| <用例出典> .....                 | I  |
| <参考文献> .....                 | I  |

## 要旨

本研究は、村上春樹の長編小説六作品と短編小説二作品の中から、日本語を英語へ翻訳する際に難しいと思われる表現を以下の 5 つに定め、翻訳者がいかに工夫しながら翻訳しているのかを考察し、その従来の翻訳方法と翻訳理論では賄いきれない部分があることを明らかにしたものである。

- (a) 普通名詞（料理にまつわる名詞）
- (b) 固有名詞
- (c) 登場人物が使う外国語の表現
- (d) 人称詞
- (e) 逆輸入表現（英語が起点テキストにあったものを日本語に一度翻訳した場合）

もっとも翻訳は逐語訳を行えば、起点テキストのメッセージを補完することができる。『ノルウェイの森』からのテキストを例に見てみよう。「レイコさんはため息をついて天井の電灯を見あげた。」は“*Reiko sighed and looked at the ceiling light.*”と訳され、日本語と英語の等価関係は直訳調であっても維持されている。しかし、これが「私ね、ミドリっていう名前なの。それなのに全然緑色が似合わないの。」というテキストだった場合、どうだろうか。このテキストが“<ミドリ>という名前なのに<緑色>が似合わない”という皮肉だと読みとることができるのは、おそらく日本語を知る読者のみだろう。翻訳者は、この文が皮肉めいた話であるということを含んだ上で翻訳する必要があるだろう。なぜなら、翻訳者がこのような起点テキスト、起点文化圏内でしか通用し得ないメッセージ性を無視し続けて翻訳をし続けた場合、話の進行に影響を及ぼすこともあるからだ。こういった翻訳上で起こる問題を整理するために、Vinay & Darbelnet は「一般翻訳手順」を構築した。しかし Vinay & Darbelnet の一般翻訳手順は、英語とフランス語間の問題を取り上げたものであり、日本語と英語ほど離れた言語同士ではない。そこで、本研究は Vinay & Darbelnet の「一般翻訳手順」を下敷きに、日本語と英語の翻訳に着目し、また英米文学の影響を受けた村上春樹の小説に着目し、翻訳方法と技術を明らかにした。

参考文献

- 青山文啓 (2016), 「ハルキのレトリック, ルービンのつぼ」, 『ことばと文字』 6号, 2016年秋号, pp.181-193
- 青山文啓 (2020), 「『雪国』冒頭部の翻訳をめぐる」, 『ことばと文字』 13号, pp.187-193
- 浅野順一 (1968) 『ヨブ記』 岩波新書
- アンソニー・ビム (2010) 『翻訳理論の探究』 武田珂代子 (訳) みすず書房
- 石黒マリーローズ (2004) 『聖書でわかる英語表現』 岩波書店
- いのちのことば社出版部 (2005) 『バイリンガル聖書: 旧新約聖書「新改訳」/ Bilingual Bible: Japanese-English: new international version: the Old Testament/the New Testament: new Japanese Bible』
- 尾形知世・矢橋和枝 (2020) 「村上春樹の海外受容と翻訳事情: 英語圏と中国語圏(台湾・中国大陸)の『海辺のカフカ』(2002)を例として」, 『仁愛大学研究紀要 人間学部篇』 19号, pp.63-76
- 加藤典洋編 (1996) 『村上春樹イエローページ』 荒地出版社
- 加藤典洋 (2011) 『村上春樹の短編を英語で読む 1979~2011: but writing about them in Japanese』 講談社
- 小阪知弘 (2017) 『村上春樹とスペイン』 国書刊行会
- 小島基洋 (2017) 『村上春樹と《鎮魂》の詩学: 午前8時25分、多くの祭りのために、ユミヨシさんの耳』 青土社
- ジェレミー・マンディー (2009) 『翻訳学入門』 鳥飼久美子 (訳) みすず書房
- 鈴木孝夫 (1973) 『ことばと文化』 岩波新書
- 田中誠 (2009), 「村上春樹の文体・翻訳研究—『風の歌を聴け』における「ように」を中心に—」, 『長崎国際大学論叢』 9号, 2009年3月号, pp.9-21
- 田中誠 (2011), 「『ノルウェイの森』における「ように」の翻訳研究—異なる翻訳者はどう表現したか—」, 『長崎国際大学論叢』 11号, 2011年3月号, pp.9-20
- 辻村敏樹 (1970) 『敬語の成立と変遷』 早稲田大学出版部
- 鳥飼玖美子 (2013) 『よくわかる翻訳通訳学』 ミネルヴァ書房
- ナカムラクニオ・道前宏子 (2018) 『村上春樹語』 誠文堂新光社
- 日本聖書協会 『バイリンガルバブル 和英対照聖書』 日本聖書協会
- 牧野成一 (2018) 『日本語を翻訳するということ: 失われるもの、残るもの』 中央公論新社
- 牧野力 (1980) 『翻訳の技法』 早稲田大学出版部
- 村上春樹 (1994) 『遠い太鼓』 講談社
- 村上春樹 (2011) 『雑文集』 新潮社
- 村上春樹 (2023) 『街とその不確かな壁』 新潮社
- 村上春樹・柴田元幸 (2000) 『翻訳夜話』 文春新書
- 村上春樹・柴田元幸 (2019) 『本当の翻訳の話をしよう』 スイッチ・パブリッシング
- 山木戸浩子 (2018) 「日本語の文学作品における言語変種の英語翻訳—村上春樹(著)『海辺のカフカ』ナカタさんの話し言葉から考える—」, 『通訳翻訳研究への招待』 19号, pp.1-21
- 山木戸浩子 (2020) 「村上春樹作品における〈関西弁〉の英語翻訳について」, 『通訳翻訳研究への招待』 22号, pp.25-45
- ディー・ブラウン (1995) 『わが魂を聖地に埋めよ (上)』 鈴木主税 (訳) 草思社
- ビートルズ (2000) 『ビートルズ全詩集』 内田久美子 (訳) ソニー・ミュージックパブリッシング
- ピーター・トラッドギル (1975) 『言語と社会』 土田滋 (訳) 岩波新書
- ローレンス・ヴェヌティ (2022) 『翻訳のスキャンダル: 差異の倫理にむけて』 秋草俊一郎, 柳田麻里 (訳) フィルムアート社
- ロマン・ヤコブソン (1973) 『一般言語学』 みすず書房
- Jean-Paul Vinay, Jean Darbelnet/translated and edited by Juan C. Sager, M.-J. Hamel (1995), Comparative stylistics of French and English: a methodology for translation, John Benjamins
- Jeremy Munday (2012), Introducing translation studies: theories and applications, London: Routledge
- Lawrence Venuti (2012), The translation studies reader, New York Routledge

Murakami Haruki (2013) , Baila Baila Baila: Tusquets, traducción del japonés de Gabriel Álvarez Martínez  
무라카미 하루키 (2014) *빵 가게 재습격*. Korea. MUNHAKDONGNE  
무라카미 하루키 (2020) *세계의 끝과 하드보일드 원더랜드* (상) . Korea. MINUMASA